

目次

[APPGALLERY](#)

[COBOL](#)

[COBOL85 MIOS7 互換ライブラリ、ビジネス用ライブラリ](#)

[DataStage](#)

[EUR](#)

[Groupmax](#)

[Hitachi Advanced Data Binder](#)

[Hitachi Application Server](#)

[Hitachi Report for SVF](#)

[JP1/Integrated Management - Message Optimizer](#)

[Object Wrapper](#)

[Oracle](#)

[SEWB+/標準サブルーチン](#)

[uCosminexus Application Server](#)

[uCosminexus cFramework](#)

[XMAP3](#)

[日立コード変換](#)

[プラットフォームソフトウェア製品](#)

[メインフレーム関連製品](#)

[ストレージ関連製品](#)

■ APPGALLERY

	品名	新元号への対応状況
P-2C51-2254	APPGALLERY Object	2019/4/12 に対策版(05-02-/B)をリリースしました。
P-2C51-2554	APPGALLERY Enterprise Edition	

・影響内容

Format 関数および次の部品の Format プロパティに、日付データを和暦表示する指定をしている場合、元号を示す値が平成を示す値のままになります。

対象部品：ボタン／ラベル／リストボックス／ラジオボックス／テキストボックス／テーブル部品／グラフ部品／文字列操作部品

なお、ボタン／ラベル／リストボックス／ラジオボックス／テキストボックスは、OCX 部品、非 OCX 部品、共に該当します。

Format 関数および Format プロパティでは、以下の変換文字を設定すると和暦で表示されます。

%0u：元号をアルファベット 1 文字 (H, S など) で表示します。

%1u：元号を漢字の省略形 (平, 昭など) で表示します。

%2u：元号を漢字 (平成, 昭和など) で表示します。

%3u：元号を和暦の年で表示します。

・対処方法

対策版(05-02-/B)をご使用ください。

[▲目次へ▲](#)

■ COBOL

形名	品名	新元号への対応状況
P-2436-9E34	COBOL EUR 連携ライブラリ	下記対処方法で対応可能。
P-2936-9E34	COBOL EUR 連携ライブラリ(64)	

・影響内容

「日付時刻データ形式」の元号を示す値が平成を示す値のままになります。

・対処方法

前提ソフトウェア (EUR Server Standard, EUR Server Enterprise) を、新たな元号をサポートした対策版にすることで対処可能です。詳細は、[EUR 製品ページの「改元時の影響について」](#) を参照ください。

[▲目次へ▲](#)

形名	品名	新元号への対応状況
P-2434-728X (*1)	COBOL GUI オプション Server	2019/4/16 に対策版(08-01-/B、08-02-/A)をリリースしました。
P-2434-828X (*1)	COBOL GUI オプション Server Run Time System	
P-2634-718X (*1)	COBOL GUI オプション	*1 本製品は特注製品です。出荷にはお見積りが必要です。
P-2634-818X (*1)	COBOL GUI オプション Run Time System	
P-2434-7274	COBOL GUI オプション Server Version 7	上記後継製品で対応。
P-2434-8274	COBOL GUI オプション Server Run Time System Version 7	
P-2634-7174	COBOL GUI オプション Version 7	
P-2634-8174	COBOL GUI オプション Run Time System Version 7	

・影響内容

ボタン／ラベル／リストボックス／ラジオボックス／テキストボックスやテーブル部品などの **Format** プロパティに、日付データを和暦表示する指定をしている場合、元号を示す値が平成を示す値のままになります。

Format プロパティでは、以下の変換文字を設定すると和暦で表示されます。

%0u : 元号をアルファベット 1 文字 (H, S など) で表示します。

%1u : 元号を漢字の省略形 (平, 昭など) で表示します。

%2u : 元号を漢字 (平成, 昭和など) で表示します。

%3u : 元号を和暦の年で表示します。

なお、ボタン／ラベル／リストボックス／ラジオボックス／テキストボックスボックスは、OCX 部品、非 OCX 部品、共に該当します。

・対処方法

対策版(08-01-/B、08-02-/A)をご使用ください。

[▲目次へ▲](#)

■ COBOL85 MIOS7 互換ライブラリ、ビジネス用ライブラリ

形名	品名	新元号への対応状況
P-2C34-611	COBOL85 MIOS7 互換ライブラリ	下記対処方法で対応可能。
P-2634-6114		

・影響内容

次に示す日付処理機能の関数において、新たな元号が処理できません。

CBLDATE

・ 対処方法

和暦と西暦の変換処理では、当該関数の引数に指定する業務プログラム内の和暦変換テーブルに新元号を追加し、和暦西暦変換で引数の和暦コード・和暦年を指定する箇所、西暦和暦変換で引数の和暦コード・和暦年が設定された値を使用する箇所を見直すことで対処可能です。

日付取得処理では、環境変数の和暦（CBLJYEAR）を設定している場合、設定値を見直すことで対処可能です。

[▲目次へ▲](#)

形名	品名	新元号への対応状況
P-2C34-6214 P-2634-6214	ビジネス用ライブラリ	下記対処方法で対応可能。

・ 影響内容

次に示す日付処理機能の関数において、新たな元号が処理できません。

BJCODATE(COBOL 言語インタフェース)、BJVCDATE(C 言語インタフェース)

・ 対処方法

和暦と西暦の変換処理では、当該関数の引数に指定する業務プログラム内の和暦変換テーブルに新元号を追加し、和暦西暦変換で引数の和暦コード・和暦年を指定する箇所、西暦和暦変換で引数の和暦コード・和暦年が設定された値を使用する箇所を見直すことで対処可能です。

日付取得処理では、環境設定で「和暦を有効にする」を設定している場合、「年」の設定値を見直すことで対処可能です。

[▲目次へ▲](#)

■ DataStage

形名	品名	新元号への対応状況
RT-1V37-D1EPW 等	DataStage	2019/6/20 に対策パッチ(11-70-SA)をリリースしました。
RT-1V37-Q1EPW 等	QualityStage	2019/6/20 に対策パッチ(11-70-SA)をリリースしました。

・ 影響内容

[DataStage]

サーバー・ジョブの Transformer ステージ、または、パラレル・ジョブの BASIC Transformer ステージにて、OCONV 関数、OCONVS 関数、ICONV 関数、ICONVS 関数を使用した際に影響がある場合があります。

詳細は以下をご参照ください。

(1) OCONV 関数、OCONVS 関数で日付変換の変換コード「D」および「NA」を指定し、新元号名を要求した場合、平成のまま出力されます。

- (2) OCONV 関数、OCONVS 関数で日付変換の変換コード「D」および「N」を指定し、新元号内の通年を要求した場合、平成の通年が出力されます。
- (3) ICONV 関数、ICONVS 関数で日付変換の変換コード「D」および「NA」を指定し、新元号名を入力した場合、エラーとなり変換されません。
- (4) ICONV 関数、ICONVS 関数で日付変換の変換コード「D」および「N」を指定し、元号内の通年を入力した場合、平成の通年として変換されます。

[QualityStage]

データのクレンジング処理で適用するルールセット（グレゴリオ暦の年に標準化する JPDATE）において、新たな元号で入力された年が正しく標準化されません。

・対処方法

対策パッチ(11-70-SA)を日立サポートサービスのページからダウンロードして適用してください。

11-70 以外のリビジョンについては要望により個別調整。サポート窓口まで問合せ願います。

V9 以前は新元号には対応していません。

[▲目次へ▲](#)

■ EUR

形名	品名	新元号への対応状況
P-2CD2-5DA4	EUR Developer	2019/4/15 に対策版をリリースしました。
P-2CD2-56A4	EUR Designer	
P-2CD2-53A4	EUR Viewer	詳細は、 EUR 製品ページの「改元時の影響について」 を参照ください。
P-29D2-5EA4	EUR Server Enterprise	
P-1JD2-5EA1		
P-1MD2-5EA1		
P-82D2-5EA1		
P-29D2-59A4	EUR Server Standard	
P-1JD2-59A1		
P-1MD2-59A1		
P-82D2-59A1		
P-2CD2-5D9L	uCosminexus EUR Developer	
P-2CD2-5794		
P-2CD2-5694		
P-2CD2-5394	uCosminexus EUR Designer	
P-2CD2-5394	uCosminexus EUR Viewer	
P-29D2-5E9L	uCosminexus EUR Server Enterprise	
P-29D2-5A94		
P-1JD2-5A91		
P-1MD2-5A91		
P-82D2-5A91		
P-29D2-5794	uCosminexus EUR Server Print Edition	

P-1JD2-5791 P-1MD2-5791 P-82D2-5791		
P-29D2-5994 P-1JD2-5991 P-1MD2-5991 P-82D2-5991	uCosminexus EUR Server Standard	
P-26D2-5684	uCosminexus EUR:イユーザーール Designer	
P-26D2-5784	uCosminexus EUR:イユーザーール Developer	
P-26D2-5384	uCosminexus EUR:イユーザーール Viewer	
P-24D2-5784 P-1JD2-5181 P-1MD2-5181 P-9DD2-5181 P-9SD2-5181 P-9VD2-5181	uCosminexus EUR:イユーザーール Print Service	
P-24D2-5984 P-1JD2-5381 P-1MD2-5381 P-9DD2-5381 P-9SD2-5381 P-9VD2-5381	uCosminexus EUR:イユーザーール Print Service Enterprise	
R-15213-A5	EUR:イユーザーール Print Service for ILF	

・影響内容

和暦を示す日付データにおいて、1桁目に新たな元号の値が指定できません。

印刷日付が和暦の場合、平成のままの表示になります。

また、西暦を和暦に変換する機能を使用している場合、元号が平成のまま出力される、などの影響があります。

・対処方法

[EUR 製品ページの「改元時の影響について」](#) を参照ください。

[▲目次へ▲](#)

■ Groupmax

形名	品名	内部コンポーネント	新元号への対応状況
P-2646-6154W	Groupmax Groupware Client	Groupmax Form Client Version 6	Groupmax Form Version 6 ユーザーズガイド 13.2.3 日付関数情報を設定 する

			<p>※処理定義にて年号を扱っている場合は処理定義の対応も必要となります。</p>
		<p>Groupmax World Wide Web Desktop Version 6</p> <p>Groupmax World Wide Web Desktop for Scheduler Version 6</p>	<p>新元号には対応していません。西暦表記の指定としてください。</p> <p>※指定方法は下記マニュアル参照</p> <p><サーバ側></p> <p>■Groupmax World Wide Web Desktop Version 6 システム管理者ガイド</p> <p>2.4.21 環境情報標準値の指定</p> <p>(8) 暦の表示形式の指定 ファイル名：インストールディレクトリ ¥schema¥gmax¥etc¥config</p> <p>シンボル名： gmax_default_cal_type=0</p> <p><クライアント側></p> <p>■Groupmax World Wide Web Desktop Version 6 ユーザーズガイド</p> <p>2.9.1 Groupmax WWW の環境情報を設定する</p> <p>(1) 日付と時刻を設定する [日付の形式] コンボボックス及び [暦] コンボボックスの西暦指定</p>
P-2646-6254	Groupmax Workflow Client	Groupmax Form Client Version 6	<p>■Groupmax Form Version 6 ユーザーズガイド
13.2.3 日付関数情報を設定する</p>

			<p>※処理定義にて年号を扱っている場合は処理定義の対応も必要となります。</p>
		<p>・ Groupmax World Wide Web Desktop Version 6</p> <p>・ Groupmax World Wide Web Desktop for Scheduler Version 6</p>	<p>新元号には対応していません。西暦表記の指定としてください。</p> <p>※指定方法は下記マニュアル参照</p> <p><サーバ側></p> <p>■Groupmax World Wide Web Desktop Version 6 システム管理者ガイド</p> <p>2.4.21 環境情報標準値の指定</p> <p>(8) 暦の表示形式の指定</p> <p>ファイル名：インストールディレクトリ ¥schema¥gmax¥etc¥config</p> <p>シンボル名： gmax_default_cal_type=0</p> <p><クライアント側></p> <p>■Groupmax World Wide Web Desktop Version 6 ユーザーズガイド</p> <p>2.9.1 Groupmax WWW の環境情報を設定する</p> <p>(1) 日付と時刻を設定する [日付の形式] コンボボックス及び [暦] コンボボックスの西暦指定</p>
P-2746-6154	Groupmax Groupware Web Client	<p>・ Groupmax World Wide Web Desktop Version 6</p>	<p>新元号には対応していません。西暦表記の指定としてください。</p>
P-2746-6254	Groupmax Groupware Client	<p>・ Groupmax World Wide Web Desktop for Scheduler Version 6</p>	<p>※指定方法は下記マニュアル参照</p>

P-2446-5144	Groupmax サーバセット		<サーバ側>
P-2446-5244	ワークフロー サーバセット		■Groupmax World Wide Web Desktop Version 6 シス テム管理者ガイド 2.4.21 環境情報標準値の指 定 (8) 暦の表示形式の指定 ファイル名：インストールデ ィレクトリ ¥schema¥gmax¥etc¥config シンボル名： gmax_default_cal_type=0 <クライアント側> ■Groupmax World Wide Web Desktop Version 6 ユー ザーズガイド 2.9.1 Groupmax WWW の環 境情報を設定する (1) 日付と時刻を設定する 〔日付の形式〕 コンボボック ス及び〔暦〕 コンボボック スの西暦指定
P-2446-5344	メールサーバ セット		
P-2446-5444	文書管理サー バセット		
P-2446-5544	スケジュール サーバセット		
P-2446-5644	グループウェ アサーバセッ ト		
P-2446-7944	Groupmax World Wide Web Desktop for 自治体		
P-2446-7Z44	Groupmax World Wide Web Desktop		
P-2646-8B44	Groupmax Form Client - Design Version 6	Groupmax Form Client - Design Version 6	■Groupmax Form Version 6 ユーザーズガイド 13.2.3 日付関数情報を設定 する ※処理定義にて年号を扱って いる場合は処理定義の対応も 必要となります。
P-2646-8H34	Groupmax Form Version 5 for World Wide Web	Groupmax Form Version 5 for World Wide Web	■Groupmax Form Version 6 ユーザーズガイド 13.2.3 日付関数情報を設定 する ※処理定義にて年号を扱って いる場合は処理定義の対応も 必要となります。

P-2646-8F44	Groupmax Web Workflow SDK セット for Active Server Pages	<ul style="list-style-type: none"> Groupmax Form Client Version 6 for Active Server Pages Groupmax Form Client-Design Version 6 	<p>■Groupmax Form Version 6 ユーザーズガイド</p> <p>13.2.3 日付関数情報を設定する</p> <p>※処理定義にて年号を扱っている場合は処理定義の対応も必要となります。</p>
P-2446-7K44	Groupmax Web Workflow サバセット for Active Server Pages	Groupmax Form Version 6 for Active Server Pages	<p>■Groupmax Form Version 6 for Active Server Pages 使用の手引</p> <p>2.7.3 [Groupmax Form for ASP 設定のプロパティ] ダイアログボックスでの設定</p> <p>※処理定義にて年号を扱っている場合は処理定義の対応も必要となります。</p>

[▲目次へ▲](#)

■Hitachi Advanced Data Binder

形名	品名	新元号への対応状況
P-9W62-C211 P-9W62-C111	Hitachi Advanced Data Binder	新たな元号をサポートした対策版(04-03-/A)を発行済み。

・影響内容

影響バージョン：02-02～04-03

スカラ関数 CONVERT(02-02 サポート)使用時に以下の影響があります。

- スカラ関数 CONVERT において、西暦年を新元号年に変換する場合、平成のまま出力されます。
- スカラ関数 CONVERT において、新元号年を西暦年に変換する場合、変換エラー (KFAA30361-E) になります。

・対処方法

新たな元号をサポートした対策版をご使用ください。

(1) 新元号対応バージョン

05-00：2019/7 リリース予定

(2) 出荷済みバージョンについて

04-03 については、対策版(04-03-/A)にて対応：2019/4/23 リリース済み

上記以外については、要望により個別調整。サポート窓口まで問合せ願います。

[▲目次へ▲](#)

■Hitachi Application Server

形名	品名	内部コンポーネント名	新元号への対応状況
P-2443-5KA4 P-2943-5KA4 P-9W43-5KA1 RT-12443-5KA4 RT-12943-5KA4 RT-19W43-5KA1	Hitachi Application Server	Hitachi Developer's Kit for Java	新元号に対応した対策版を発行。 詳細は、下記対処方法を参照
P-2443-5FA4 P-2943-5FA4 RT-12443-5FA4 RT-12943-5FA4	Hitachi Application Server for Developers		

・影響内容

Calendar.getInstance など、Locale が("ja", "JP", "JP")または"u-ca-japanese"拡張を付与している場合に内部 JapaneseImperialCalendar クラスが使用されているメソッドでは、改元後の年の元号が正しく処理されません。

Java で利用可能な元号については、以下の Oracle 社ドキュメントを参照ください。

[Oracle Java Documentation サポートされるカレンダー \(Java SE8\)](#)

Java SE8 以降でサポートする以下の Date and Time API では、改元後の年の元号が正しく処理されません。

java.time.chrono.JapaneseChronology

java.time.chrono.JapaneseDate

java.time.chrono.JapaneseEra

利用可能な元号については、以下の Oracle 社ドキュメントを参照ください。

[Java SE8 クラス JapaneseEra](#)

・対処方法

新たな元号をサポートした Hitachi Developer's Kit for Java (HJDK) の対策版をご使用ください。

Hitachi Application Server	ベース Ver.	PF	HJDK VRZ	発行日
V10	JDK8	Win/x86	10-10-18	2019/5/28
V10.1		Win/x64	10-10-18	2019/5/28
		Win/x64	10-11-18	2019/5/28
		Linux	10-11-18	2019/5/28

お客様がご利用になられている Hitachi Application Server のバージョンから、適用可能な HJDK 対策版をご確認ください。

なお、全ての HJDK 対策版について、「2019/4 版の Oracle 社 JDK の update 版での変更内容(新元号対応を含む)」を含んだ対策版となります。

■Hitachi Report for SVF

形名	品名	新元号への対応状況
下記で始まる形名 RT-1V53- RT-1V54- RT-1V55-	Hitachi Report for SVF 製品全般	下記対処方法で対応可能。

・影響内容

次の対処を行わない場合、和暦変換関数は平成までの処理となります。

・対処方法

下記の FAQ「Q6. 改元が行われた際の対処方法について教えてください。」を参照ください。

[Hitachi Report for SVF : FAQ](#)

[▲目次へ▲](#)

■JP1/Integrated Management - Message Optimizer

形名	品名	新元号への対応状況
P-2W2C-9AA4 P-242C-9A94 P-2A2C-9A94	JP1/Integrated Management - Message Optimizer	環境設定パラメーターに新元号の情報を設定することで新元号に対応可能。 設定方法は下記対処方法を参照。

・影響内容

変換フォーマットの種別「年」の形式に「和暦（英字）」または「和暦（漢字）」指定している場合、その変換フォーマットを使用してメッセージの変換を行うと、年が平成の値のままになります。

・対処方法

下記 [新元号の設定手順] に従い、環境設定パラメーター「ERA_DATA_1」に新たな元号の情報を設定することで、新元号に対応可能です。

[新元号の設定手順]

- (1) 「JP1/IM - MO インストール先フォルダ¥conf」に格納されている環境設定ファイル「jplimmo.conf」をテキストエディターで開く。
- (2) 環境設定ファイルに環境設定パラメータ「ERA_DATA_1」の設定を追加し、設定値に新元号の情報を設定する。
設定の形式は下記 [環境設定パラメーターの説明] を参照。
- (3) JP1/IM - Message Optimizer サービスを停止する。
- (4) jmosetconf コマンドを実行する。

> jmosetcnf

(5) JP1/IM - Message Optimizer サービスを起動する。

[注意事項]

クラスタ環境においては、実行系、待機系ともに本手順による設定を実施してください。また、JP1/IM - Message Optimizer サービスの停止・起動はクラスタソフトで実施してください。

[環境設定パラメーターの説明]

環境設定パラメーター名：

ERA_DATA_[n] … [n]は1～10の整数。

指定形式：

ERA_DATA_[n]=”[元号の開始年月日],[元号の英字表記],[元号の漢字表記]”

設定値の説明：

[元号の開始年月日]：元号の開始年月日をYYYYMMDDの形式で指定してください。

[元号の英字表記]：元号の英字表記を指定してください。

[元号の漢字表記]：元号の漢字表記を指定してください。

[注意事項]

環境設定パラメーター名は、「ERA_DATA_1」から順に[n]の値が連続となるように指定してください。

環境設定パラメーターの設定値のバイト数に制限があります。元号の開始年月日から元号の漢字表記までの全体で12～255バイトの範囲で指定してください。

[▲目次へ▲](#)

■ Object Wrapper

品名	新元号への対応状況
Object Wrapper for TMS-4V	下記対処方法で対応可能。
Object Wrapper - Extension 15	
Object Wrapper - Extension 21	
Object Wrapper - Extension 31	
Object Wrapper - Extension 41	

・影響内容

ope_calendar スクリプト関数において、以下の機能を使用した場合、改元後の日付が正しく処理されません。

入力情報ノード内に指定されたリーフの日付データを、西暦あるいは和暦に変換。

入力情報ノード内に指定されたリーフの基準日、差分日数から、日付を和暦で取得。

・対処方法

和暦情報ファイル (owexdate.dat) に新元号の「和暦名称」「和暦記号」「最初の年月日」を定義します。

[▲目次へ▲](#)

■ Oracle

品名	新元号への対応状況
Oracle Database	下記対処方法で対応可能。

・ 影響内容

NLS_CALENDAR を Japanese Imperial に設定している環境で日付関数で元号や和暦を使う（表示した）場合には影響を受けます。

・ 対処方法

元号や和暦を使っている場合は、パッチを適用するか、lxegeen (NLS カレンダー・ユーティリティ) を用いた対処をお願いします。

詳細は以下のドキュメントを参照ください。

- ・ データベースにおける元号変更の影響について（ドキュメント ID 2346534.1）

<https://support.oracle.com/epmos/faces/DocumentDisplay?id=2346534.1>

[▲目次へ▲](#)

■ SEWB+ /標準サブルーチン

形名	品名	新元号への対応状況
P-1M51-FC31 P-2451-F244 P-2651-F244	SEWB+/標準サブルーチン	----- <2019/03/29 更新> 「 結果不正となる現象 」を対策した製品を、2019/03/29 にリリース致しました。 【対策バージョン】 Windows 版 P-2451-F244 04-03-/B P-2651-F244 04-03-/B P-2951-F144 04-03-/B P-2951-F244 04-03-/B
P-1M51-FD31 P-2951-F244 P-9W51-FD31	SEWB+/標準サブルーチン(64)	Linux/UNIX 版 P-1M51-FC31 03-02-/B P-1M51-FD31 03-02-/B P-9W51-FD31 03-02-/B ----- <2019/03/04 更新> 「 結果不正となる現象 」を対策した製品を、2019/03 末にリリース予定です。 条件に該当する場合は、対策版への入替えをお願い致します。

		<p>【対策バージョン】</p> <p>Windows 版</p> <p>P-2451-F244 04-03-/B 以降</p> <p>P-2651-F244 04-03-/B 以降</p> <p>P-2951-F244 04-03-/B 以降</p> <p>Linux/UNIX 版</p> <p>P-1M51-FC31 03-02-/B 以降</p> <p>P-1M51-FD31 03-02-/B 以降</p> <p>P-9W51-FD31 03-02-/B 以降</p> <p>-----</p> <p>元号変更に対応した製品をリリースしました。</p> <p>製品の元号カスタマイズ機能で、新元号を登録してご利用頂けます。</p> <p>【対応バージョン】</p> <p>Windows 版</p> <p>P-2451-F244 04-03-/A 以降</p> <p>P-2651-F244 04-03-/A 以降</p> <p>P-2951-F244 04-03-/A 以降</p> <p>Linux/UNIX 版</p> <p>P-1M51-FC31 03-02-/A 以降</p> <p>P-1M51-FD31 03-02-/A 以降</p> <p>P-9W51-FD31 03-02-/A 以降</p>
<p>P-1M51-FC21</p> <p>P-2651-F234</p> <p>P-1B51-FC21</p> <p>P-1J51-FC21</p> <p>P-2651-F214</p> <p>P-1J51-FD31</p>	<p>SEWB+ 標準サブルーチン</p>	<p>新たな元号への対応予定はありません。上記製品にて対応します。</p>

・影響内容

和暦を意識する日付チェック／編集サブルーチンおよび時間チェック／編集サブルーチンにおいて、2087年まで平成として処理されたり、新たな元号が指定できなかつたりします。

・対処方法

新たな元号をサポートした対策版を使用することで対処可能となります。

以下に、対応方法の概要を示します。

詳細は、新元号に対応した製品マニュアルを参照ください。

- (1) 製品の元号カスタマイズ機能で、新元号を登録
- (2) 製品を利用している COBOL 業務プログラムを見直し

見直し観点を以下に示します。

- ① 元号を扱うサブルーチン実行後のエラー判定の見直し
新元号対応でサブルーチンのリターンコードが追加となります。
- ② 平成の範囲チェック外データ有無の見直し
新元号対応で平成の範囲は、平成 31 年 4 月 30 日までとなり、それ以降の平成年月日は、サブルーチンでエラーとなります。
- ③ サブルーチンへ渡す引数の年号コードが間違いないかの見直し
従来、年号コードが誤っていてもサブルーチンは平成を仮定して動作していました。新元号を扱う環境では、最新の年号を仮定して動作します。

<2019/03/04 更新>

・結果不正となる現象

(1)現象

新たな元号に、特定の文字が含まれている場合、和暦編集サブルーチンの実行結果が不正となります。例えば、新たな元号として「仮年」を、その元号のコードに「K」を設定した場合、和暦編集サブルーチンにおいて、実行結果が「仮葱」に文字化けします。

(2)発生条件

和暦編集サブルーチンにおいて、以下の条件が重なった場合に発生する可能性があります。

- ①SJIS 用の標準サブルーチンを使用する。
- ②新たな元号文字や、和暦編集サブルーチンの「出力形式指定のフォーマット」に、「(4)現象が発生する可能性のある特定文字」を指定する(ただし、「出力形式指定のフォーマット」中の「年」は除く)。

(3)現象が発生する和暦編集サブルーチン

- LXRPID24 年月日出力編集 (和暦)
- LXRPID46 年月日 (和暦) 編集
- LXRPID47 年月日変換 (西暦→和暦) 編集)
- LXRPID55 年月 (和暦) 編集)
- LXRPID56 年月変換 (西暦→和暦) 編集)
- LXRPID66 年度 (和暦) 編集)
- LXRPID67 年度変換 (西暦→和暦) 編集)
- LXRPID76 年変換 (西暦→和暦) 編集)

(4)現象が発生する可能性のある特定文字

現象が発生する可能性のある特定文字は、[こちら](#)でご確認ください。

・一時的な回避方法

新たな元号に対するテストで、仮の文字を設定してご利用になる場合は、上記の特定文字以外でのご利用をお願い致します。

■ uCosminexus Application Server

形名	品名	内部コンポーネント	新元号への対応状況		
P-1J43-7K91 P-2443-7K94 P-2943-7K94 P-9W43-7K91	uCosminexus Application Server	Cosminexus Developer's Kit for Java(TM)	新元号に対応した対策版を発行しました。 詳細は、下記対処方法 1 を参照		
P-1M43-7K91	uCosminexus Application Server(64)				
P-2443-7F94 P-2943-7F94	uCosminexus Developer				
P-2443-7H94	uCosminexus Client				
P-2443-7T94 P-2943-7T94	uCosminexus Service Architect				
P-1J43-7S91 P-2443-7S94 P-2943-7S94 P-9W43-7S91	uCosminexus Service Platform				
P-1M43-7S91	uCosminexus Service Platform(64)				
P-1J43-7D81 P-1M43-7D81 P-2443-7D84 P-2943-7D84 P-9D43-7D81 P-9E43-7D81 P-9S43-7D81 P-9V43-7D81	uCosminexus Application Server Standard			Cosminexus Developer's Kit for Java(TM)	新元号に対応した対策版を発行しました。 詳細は、下記対処方法 2 を参照
P-1J43-7K81 P-1M43-7K81 P-2443-7K84 P-2943-7K84 P-9D43-7K81 P-9E43-7K81 P-9S43-7K81 P-9V43-7K81	uCosminexus Application Server Enterprise				
P-2443-7B84 P-2943-7B84 P-9S43-7B81	uCosminexus Application Server Standard-R				
P-2443-7E84	uCosminexus Developer Standard				

P-2443-7F84	uCosminexus Developer Professional		
P-2443-7H84	uCosminexus Client		
P-2443-7T84	uCosminexus Service Architect		
P-1J43-7S81	uCosminexus Service Platform		
P-1M43-7S81			
P-2443-7S84			
P-2943-7S84			
P-9S43-7S81			

・影響内容

Calendar.getInstance など、Locale が("ja", "JP", "JP")または"u-ca-japanese"拡張を付与している場合に内部 JapaneseImperialCalendar クラスが使用されているメソッドでは、改元後の年の元号が正しく処理されません。

Java で利用可能な元号については、以下の Oracle 社ドキュメントを参照ください。

[Oracle Java Documentation サポートされるカレンダー](#) (Java SE8)

[Oracle Java SE Documentation サポートされるカレンダー](#) (Java SE7)

[サポートされるカレンダー](#) (Java SE6)

Java SE8 以降でサポートする以下の Date and Time API では、改元後の年の元号が正しく処理されません。

java.time.chrono.JapaneseChronology

java.time.chrono.JapaneseDate

java.time.chrono.JapaneseEra

利用可能な元号については、以下の Oracle 社ドキュメントを参照ください。

[Java SE8 クラス JapaneseEra](#)

・対処方法 1

新たな元号をサポートした Cosminexus Developer' s Kit for Java (CDK)の対策版をご使用ください。

uCosminexus Application Server	ベース Ver.	PF	CDK VRZ	発行予定
V9.7	JDK8	Win/x86	09-70-17	2019/4/19 発行済み
		Win/x64	09-70-17	2019/4/19 発行済み
		Linux	09-70-17	2019/4/19 発行済み
		AIX	09-70-03	2019/5/29 発行済み
V9.6	JDK7	Win/x86	09-60-13	2019/4/19 発行済み
		Win/x64	09-60-13	2019/4/19 発行済み
		Linux	09-60-13	2019/4/19 発行済み
		AIX	09-60-01	2019/5/29 発行済み
V9.5	JDK6	Win/x86	09-50-22	2019/4/19 発行済み
		Win/x64	09-50-22	2019/4/19 発行済み

		Linux	09-50-22	2019/4/19 発行済み
		HP/IPF	09-50-11	2019/4/19 発行済み
		AIX	09-50-11	2019/4/19 発行済み
V9.0	JDK6	Win/x86	09-00-22	2019/6/13 発行済み
		Win/x64	09-00-22	2019/6/5 発行済み
		Linux	09-00-22	2019/6/11 発行済み
		HP/IPF	09-00-11	2019/6/19 発行済み
		AIX	09-00-11	2019/6/19 発行済み

お客様がご利用になられている uCosminexus Application Server のバージョンから、適用可能な CDK 対策版をご確認ください。

なお、全ての CDK 対策版での変更点は、新元号対応のみです。

・対処方法 2

新たな元号をサポートした Cosminexus Developer' s Kit for Java (CDK) の対策版をご使用ください。

uCosminexus Application Server	ベース Ver.	PF	CDK VRZ	発行予定
V8.7	JDK6	Win/x86	08-70-22	2019/6/13 発行済み
		Win/x64	08-70-22	2019/6/5 発行済み
		Linux	08-70-22	2019/6/11 発行済み
V8.53	JDK6	Win/x64	08-53-22	2019/6/5 発行済み
		Linux	08-53-22	2019/6/11 発行済み
V8.5	JDK6	Win/x64	08-50-22	2019/6/5 発行済み
		Linux	08-50-22	2019/6/11 発行済み

お客様がご利用になられている uCosminexus Application Server のバージョンから、適用可能な CDK 対策版をご確認ください。

なお、全ての CDK 対策版での変更点は、新元号対応のみです。

[▲目次へ▲](#)

■uCosminexus cFramework

形名	品名	新元号への対応状況
R-1V14-11A411	uCosminexus cFramework	2019/4/26 に対策版(08-00-/A)をリリースしました。
R-1V14-11A431	uCosminexus cFramework	
R-1V14-11A441	uCosminexus Studio cFramework	
R-1V14-112311	Cosminexus cFramework	個別にご相談ください。
R-1V14-113311	Cosminexus cFramework	
R-1V14-114311	Cosminexus cFramework	
R-1V14-115311	Cosminexus cFramework	
R-1V14-116311	Cosminexus cFramework	
R-1V14-117311	Cosminexus cFramework	

R-1V14-118311	Cosminexus cFramework	新元号への対応予定はありません。上記製品にて対応します。
R-1V14-119311	Cosminexus cFramework	
R-1V14-112321	Cosminexus studio cFramework	
RT-1V29-11 で始まる形名	Cosminexus cFramework	
RT-1V29-112121 RT-1V29-17A121	Cosminexus cFramework Developer cStudio	

・影響内容

次に示す日付処理クラスを使用している場合、新たな元号が処理できません。

`com.ec_one.cBank.framework.util.DateUtil`

新元号を使用した場合、以下のメソッドが不正な値を返します。

- ・ `DateUtil(String,String,String,String)`
- ・ `DateUtil(String,int,int,int)`
- ・ `DateUtil afterYears(int)`
- ・ `DateUtil afterYearsSetMonth(int,int)`
- ・ `int equals(DateUtil)`
- ・ `int equalsYear(DateUtil)`
- ・ `String format()`
- ・ `String formatWareki()`
- ・ `int getYear()`
- ・ `int howManyYears(DateUtil)`
- ・ `void setDate(String,int,int,int)`
- ・ `void setDate(String,String,String,String)`
- ・ `String toString()`

また、以下のメソッドを使用した場合、新元号ではなく、2019年5月1日以降も平成として扱われます。

- ・ `formatWareki()`

・対処方法

新たな元号をサポートした uCosminexus cFramework の対策版を適用してください。

形名	品名	VRS	発行日
RT-1V14-11A411	uCosminexus cFramework	08-00-/A	2019/4/26
RT-1V14-11A431	uCosminexus cFramework	08-00-/A	2019/4/26
RT-1V14-11A441	uCosminexus Studio cFramework	08-00-/A	2019/4/26

■XMAP3

<Windows 版>

形名	品名	新元号への対応状況
P-262B-5354	XMAP3 Server Runtime Version 5	和暦を扱う日付テキスト／フィールドに入出力できる元号に任意の文字列を指定できる機能をサポートした対策版（バージョン：05-10）をリリース済。 この機能は、政令によって定められた元号が、全角で2文字、英字での略称が1文字の場合に使用できる機能です。 設定方法は下記対処方法を参照ください。 なお、2019/7 リリースのバージョン 05-13 では新元号「令和」を標準サポートしています。表示・印刷環境ファイル（X3PCONF）に新元号「令和」を標準設定済ですので、新規導入時には設定追加の必要はありません。
P-2C2B-5454	XMAP3 Client Runtime Version 5	
P-262B-5454	XMAP3 Client Runtime Version 5	後継製品である P-2C2B-5454 にて対応済。
P-262B-5F54	XMAP3/Web for Cosminexus	和暦を扱う日付テキスト／フィールドに入出力できる元号に任意の文字列を指定できる機能について、以下まで個別にご相談ください。 株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 基盤ソフトウェア部 XMAP3 問合せ窓口 E-Mail:XMAP3-soft@itg.hitachi.co.jp
P-262B-5C54	XMAP3 Developer Version 5	当製品は影響ありません。
P-262B-5344	XMAP3/NET Version 4	後継製品である上記 Version 5 製品にて対応済。
P-262B-5444	XMAP3/NET Run Time System Version 4	
P-262B-5744	XMAP3/REPORT3 Version 4	
P-262B-5844	XMAP3/REPORT3 Run Time System Version 4	
P-262B-5C44	XMAP3/Enterprise Edition Version 4	
P-262B-5E44	XMAP3/Enterprise Edition Run Time System Version 4	
P-262B-5124	XMAP3/ENTRY	
P-262B-512U	XMAP3/ENTRY Upgrade	
P-262B-5324	XMAP3/NET	
P-262B-532U	XMAP3/NET Upgrade	

P-262B-5724	XMAP3/REPORT3	後継製品である上記 Version 5 製品 (P-262B-5F54) の対応について個別にご相談ください。
P-262B-572U	XMAP3/REPORT3 Upgrade	
P-262B-5A24	XMAP3/WIDE	
P-262B-5A2U	XMAP3/WIDE Upgrade	
P-262B-5C24	XMAP3/Enterprise Edition	
P-262B-5C2U	XMAP3/Enterprise Edition Upgrade	
P-262B-5D24	XMAP3/Web – Design	
P-262B-5F44	XMAP3/Web Version 4	
P-262B-5Q44	XMAP3/Web for Cosminexus	

<UNIX・Linux 版>

形名	品名	新元号への対応状況
P-1M2B-2551 P-1J2B-2551	XMAP3 Server Runtime Version 5	和暦を扱う日付テキスト／フィールドに入出力できる元号に任意の文字列を指定できる機能をサポートした対策版（バージョン：05-06）をリリース済。この機能は、政令によって定められた元号が、全角で2文字、英字での略称が1文字の場合に使用できる機能です。 設定方法は下記対処方法を参照ください。
P-9S2B-5F54	XMAP3/Web for Cosminexus	和暦を扱う日付テキスト／フィールドに入出力できる元号に任意の文字列を指定できる機能について、以下まで個別にご相談ください。 株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 基盤ソフトウェア部 XMAP3 問合せ窓口 E-Mail:XMAP3-soft@itg.hitachi.co.jp
P-1M2B-2521 P-1B2B-2521 P-1J2B-2521	XMAP3 Server	後継製品である上記 Version 5 製品にて対応済。
P-1B2B-2121	XMAP3/DISPLAY	
P-1B2B-2221	XMAP3/DISPLAY - Run Time System	
P-1B2B-2321	XMAP3/PRINTER	
P-1B2B-2421	XMAP3/PRINTER - Run Time System	
P-1B2B-1111	XP/W	

・影響内容

日付テキスト/日付フィールドにて表示形式に和暦を利用している場合に次の影響があります。

- ・画面表示時に新元号が表示できません。
- ・画面入力時に新元号での日付の妥当性チェックができません。
また、AP に新元号の入力データを渡せません。
- ・帳票出力時に新元号が印刷できません。

・対処方法

上記表にて"対策版をリリース済"となっている製品については、その対策版を使用することで対処可能です。

"後継製品で対応済"となっている製品については、該当の後継製品の対策版に移行することで対処可能になります。

元号対策版を導入し、表示・印刷環境ファイル (X3PCONF/XPWconfig) に、以下項目を設定することで新元号が有効となります。

(a) 元号 (* .COGNK5=)

平成の次に制定される元号を全角 2 文字で指定します。

(b) 元号の略称 (* .COGNE5=)

平成の次に制定される元号の略称を半角の英大文字 1 文字で指定します。

(c) 元号の開始年月日 (* .COGNS5=)

平成の次に制定される元号の開始年月日を「YYYYMMDD」形式で指定します。

YYYY (年) は 0001~9999, MM (月) は 01~12, DD (日) は 01~31 の範囲で指定します。

詳細は下記マニュアルを参照ください。

画面・帳票サポートシステム XMAP3 実行ガイド 8.7.2 (17)元号に関する設定

なお、AP 側で日付テキスト/日付フィールドの和暦を意識している場合、AP 上で元号は 1 桁の数字(1~5)で表されます。

表示・印刷環境ファイル (X3PCONF/XPWconfig) で設定した新元号には 5 が割り当たりますので、必要に応じて AP の改修を行ってください。

- 1 : 明治
- 2 : 大正
- 3 : 昭和
- 4 : 平成
- 5 : * .COGNK5=の値

[▲目次へ▲](#)

■日立コード変換 (Hitachi Code Converter)

○日立コード変換実行環境製品

形名(※)	品名	新元号への対処方法
P-265Z-1134	日立コード変換 – Server Runtime	下記対処方法で対応可能。
P-265Z-1234	日立コード変換 – Client Runtime	

P-295Z-1134	日立コード変換 – Server Runtime(64)
P-295Z-1234	日立コード変換 – Client Runtime(64)
P-265Z-1144	Hitachi Code Converter – Server Runtime for C/COBOL
P-265Z-1244	Hitachi Code Converter – Client Runtime for C/COBOL
P-295Z-1144	Hitachi Code Converter – Server Runtime for C/COBOL(64)
P-295Z-1244	Hitachi Code Converter – Client Runtime for C/COBOL(64)
P-1J5Z-1121	日立コード変換 – Runtime
P-1M5Z-1131	
P-9S5Z-1131	
P-1M5Z-1531	日立コード変換 – Runtime(64)
P-9W5Z-1131	
P-1M5Z-1141	Hitachi Code Converter – Runtime for C/COBOL
P-9S5Z-1141	
P-1M5Z-1541	Hitachi Code Converter – Runtime for C/COBOL (64)
P-9W5Z-1141	
P-265Z-1324	uCosminexus 日立コード変換 – Server Runtime
P-1J5Z-1321	uCosminexus 日立コード変換 – Runtime
P-1M5Z-1321	
P-9S5Z-1321	
P-265Z-1344	Hitachi Code Converter – Server Runtime for Java
P-1M5Z-1341	Hitachi Code Converter – Runtime for Java
P-9S5Z-1341	

※：その他の形名でも該当する場合があります。詳細は、サポート窓口までお問い合わせください。

・影響内容

Unicode では、新元号「令和」の合字(※1)が「u+32FF」に割り当てられます。この「u+32FF」に対するマッピングは、日立コード変換実行環境製品のデフォルトでは存在しませんので、「u+32FF」を他の文字コード体系へコード変換(※2)すると、未定義扱いになります。

※1：合字とは、複数の文字を合成して1文字にしたもの。

※2：文字コード変換を実行する API を発行。詳細はサポート窓口までお問い合わせください。

・対処方法

次の（1）または（2）の対処方法で未定義扱いを回避することが出来ます。

（1）または（2）以外の方法でも回避可能な場合もあります。

サポート窓口までお問い合わせください。

（1）ユーザマッピングでの対応

(1-1) 変換対象が KEIS 拡張文字セット 3 の場合

KEIS コードにおいては、新元号「令和」の合字が KEIS 拡張文字セット 3 に追加される予定です。[■メインフレーム関連製品]の[文字パターン辞書 拡張文字セット 3]を参照ください。

- ① 日立コード変換の開発環境製品を用いて、Unicodeの「32FF」とKEIS拡張文字セット3に割り当てられた文字コードをマッピングした、ユーザマッピングファイルを作成してください。
- ② 日立コード変換の実行環境に①で作成したユーザマッピングファイルを配置し、文字コード変換を実行してください。

(1-2) 変換対象が KEIS 拡張文字セット 3 以外の場合

- ① Unicode 以外のシステムにおいて、新元号の合字を外字として作成し、外字コードを割り当ててください。外字の作成方法につきましては、各システム (OS 等) の作成手順に従ってください。
- ② 日立コード変換の開発環境製品を用いて、Unicode の「32FF」と①で割り当てた外字の文字コードをマッピングした、ユーザマッピングファイルを作成してください。
- ③ 日立コード変換の実行環境に②で作成したユーザマッピングファイルを配置し、文字コード変換を実行してください。

ユーザマッピングファイルの詳細な作成手順は、日立コード変換のマニュアルをご参照ください。

(2) 文字列への置換え (UOC)

- ① 入力の Unicode が「32FF」であった場合、割り当てたい文字列に変換する UOC を作成してください。例えば、「𐀀」を「平成」に置き換えるなど。
- ② 日立コード変換の開発環境製品を用いて、作成した UOC をユーザアプリケーションに取り込んでリコンパイルしてください。
- ③ 日立コード変換の実行環境にリコンパイルしたユーザアプリケーションを配置し、文字コード変換を実行してください。

UOC の詳細につきましては、日立コード変換のマニュアルをご参照ください。

尚、JIS 規格の改訂など実施された場合は、対処方法も変更になる場合があります。詳細は、サポート窓口までお問合せください。

○日立コード変換オプション製品

形名	品名	新元号への対応状況
P-265Z-6714	日立コード変換 - ファイル変換ユーティリティ	下記対処方法で対応可能
P-1M5Z-6711		
P-9S5Z-6711		
P-1M5Z-6811	日立コード変換 - ファイル変換ユーティリティ(64)	
P-9W5Z-6711		

・影響内容

Unicode では、新元号「令和」の合字が「u+32FF」に割り当てられます。この「u+32FF」に対するマッピングは、前提製品である日立コード変換実行環境製品のデフォルトでは存在しませんので、「u+32FF」を他の文字コード体系へコード変換すると、未定義扱いになります。

・対処方法

次の対処方法で未定義扱いを回避することが出来ます。

(1) ユーザマッピングでの対応

(1-1) 変換対象が KEIS 拡張文字セット 3 の場合

KEIS コードにおいては、新元号「令和」の合字が KEIS 拡張文字セット 3 に追加される予定です。[■メインフレーム関連製品]の[文字パターン辞書 拡張文字セット 3]を参照ください。

- ① 日立コード変換の開発環境製品を用いて、Unicodeの「32FF」とKEIS拡張文字セット3に割り当てられた文字コードをマッピングした、ユーザマッピングファイルを作成してください。
- ② ファイル変換ユーティリティの実行環境に①で作成したユーザマッピングファイルを配置し、文字コード変換を実行してください。

(1-2) 変換対象が KEIS 拡張文字セット 3 以外の場合

- ① Unicode 以外のシステムにおいて、新元号の合字を外字として作成し、外字コードを割り当ててください。外字の作成方法につきましては、各システム (OS 等) の作成手順に従ってください。
- ② 日立コード変換の開発環境製品を用いて、Unicode の「32FF」と①で割り当てた外字の文字コードをマッピングした、ユーザマッピングファイルを作成してください。
- ③ ファイル変換ユーティリティの実行環境に②で作成したユーザマッピングファイルを配置し、文字コード変換を実行してください。

ユーザマッピングファイルの詳細な作成手順は、日立コード変換のマニュアルをご参照ください。

[▲目次へ▲](#)

■プラットフォームソフトウェア製品

製品	影響	新元号への対処方法
Windows	[日付と時刻]で和暦を選択した場合、カレンダーや date コマンドの表示、toLocaleDateString メソッドなどにおいて、改元後の年でも平成のままになります。	Windows 7、Windows Server 2008 R2 以降の Windows OS では、更新プログラムの適用およびレジストリキーの値により新元号が設定されます。更新プログラムの詳細は次に示す Microsoft 社のページを参照ください。 ・ Windows 用の日本の新元号対応更新プログラムについて - KB4469068 https://support.microsoft.com/en-us/help/4469068/summary-of-new-japanese-era

		<p>updates-kb4469068 https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4469068/summary-of-new-japanese-era-updates-kb4469068</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新元号への対応について <p>https://www.microsoft.com/ja-jp/mscorp/newera/default.aspx</p>
AIX	<p>日本語のロケールを設定した環境において、date コマンドなどをオプション付で実行すると元号表示することが可能ですが、改元後の年でも平成のままになります。</p>	<p>新元号に対応するために OS のパッチ適用またはバージョンアップが必要です。</p> <p>対応が必要な機能のうち一部についてはパッチに関する情報は、IBM 社のページを参照ください。</p> <p>元号の変更に伴う AIX の対応について</p> <p>https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=ibm10870382</p> <p>■6.1 用</p> <p>IJ15615: JAPANESE ERA CHANGE FROM HEISEI TO REIWA</p> <p>https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=isg1IJ15615</p> <p>■7.1 用</p> <p>IJ15313: JAPANESE ERA CHANGE FROM HEISEI TO REIWA</p> <p>https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=isg1IJ15313</p> <p>■7.2 用</p> <p>IJ15533: JAPANESE ERA CHANGE FROM HEISEI TO REIWA</p> <p>https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=isg1IJ15533</p> <p>IJ15614: JAPANESE ERA CHANGE FROM HEISEI TO REIWA</p> <p>https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=isg1IJ15614</p> <p>■JAVA 用</p> <p>IJ15572: SUPPORT FOR THE NEW JAPANESE ERA REIWA IN IBM JAVA</p> <p>https://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg1IJ15572</p>

	<p>なお、AIX V6.1 以前はパッチが提供されない可能性があるため、その場合は OS のバージョンアップが必要となります。</p>
HP-UX	<p>新元号対応のロケールパッチ (PHCO_44797) がリリースされました。</p> <p>詳細は次に示す HPE 社のページを参照ください。 (HP-UX11iv2 以前についてはパッチは提供されません)</p> <p>Patch Name: PHCO_44797 Patch Description: 11.31 Asian locales cumulative patch https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docLocale=en_US&docId=pdb_na-PHCO_44797&withFrame</p> <p>localdef の不具合対応として同時にリリースされた次の 2 点のパッチを同時に適用することを推奨致します。</p> <p>PHCO_44795: 11.31 localedef(1M) cumulative patch PHCO_44796: 11.31 locale(1) cumulative patch</p>
RHEL	<p>新元号に対応が必要なパッケージについては、対応したバージョンにアップデートが必要です。</p> <p>対応が必要なパッケージのうち、glibc、java については新元号に対応したバージョンが順次リリースされています。</p> <p>対応が必要なパッケージや対応状況の詳細、および対応したパッケージのダウンロードについては、次に示す Red Hat 社のページを参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • https://access.redhat.com/solutions/2749651 <p>なお、すべての OS バージョンでアップデート版がリリースされない可能性があります。</p> <p>アップデート版がリリースされていない OS バージョンをご使用いただいている場合は、アップデート版がリリースされている OS へのバージョンアップが必要となります。</p>

■メインフレーム関連製品

形名	品名	影響	新元号への対処方法
R-1931-11 R-2931-11	STAMPS II 標準機能	簡易言語が提供する表意定数とシステム変数のうち、以下の (a) ~ (c) を利用している場合に影響があります。 (a)元号漢字用の表意定数 KHEISEI : ‘平成’ (b)和暦計算用のシステム変数 SSWAREKI : 起動パラメタで指定可能 (SSWAREKI=00~99) 、省略値は 88 (c)システム日付の年を扱うシステム変数 SSRYYYMMDD, SSRUNYYYYMM, SSRUNYYYY, SSRUNYYMMDD, SSRUNYYMM, SSRUNYY, SSOYYYMMDD, SSOLDYYYYMM, SSOLDYYYY, SSOLDYYMMDD, SSOLDYYMM, SSOLDYY	'KHEISEI', 'SSWAREKI', 'SSRYYYMMDD', 'SSRUNYY', 'SSOYYYMMDD', 'SSOLDYY' が見つかった場合、そのソースプログラムの処理内容を見て、元号変更によってプログラムの動作が不正になるか否かの判定をしてください。 判定の結果、元号変更による影響がある場合は、ソースプログラムの改修をお願いします。 ソースプログラムの改修方法は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。 <問い合わせ先> qainf- soft@itg.hitachi.co.jp
S-1454-42	CAP-B E2	指定された日が暦日かどうかのチェックおよび年号変換 (西暦・和暦) を行う CAMDT マクロにおいて影響があります。	年号変換テーブル作成マクロ CADNTR を使って、平成の終わり年月日と新規年号を示す記号を定義します。
S-1962-22	BGRAF E2	和暦の出力について、平成の次の元号が出力できません。	2019/4/22 に対策版(02-05)を発行済み
S-9939-D4 S-9939-F2 S-9939-F4 S-9939-H2 S-9939-H4 S-9939-L2 S-9939-L4 S-9939-N4	文字パターン辞書 拡張文字セット 3	従来、1 文字で表示する元号 (合字) を拡張文字セット 3 で提供しており、新元号の追加が必要。	KEIS コード 73FA, 73FB を新元号合字に割り当て、元号合字データを登録手順書と合わせて、2019/4/18 より提供開始しました。 入手方法は、以下にお問い合わせください。 【日立プリンティングソリューションセンタ (HPSC) 】

			Mail:printer- migration@itg.hitachi.co.jp Tel : 070-3549-3721
--	--	--	---

[▲目次へ▲](#)

■ストレージ関連製品

機種名	ライセンス形名	品名	影響	新元号への対処方法
VSP G1000	P-242R-JFE1K	Hitachi Cross-OS File Exchange Software	<p>Cross-OS File Exchange-Code Converterを用いたの合字コードを変換しているシステムで、「令和」を一文字で表す日立の合字コード (x73FA,x73FB) を使用する場合、コード変換テーブルのカスタマイズが必要となります。</p> <p>コード変換テーブルのカスタマイズを実施しない場合、コード変換処理はエラー終了する事無く実行されますが、コード変換処理の結果、「日立合字 : x73FA,x73FB」 「Unicode : x32FF」はブランク (空白) に変換されます。</p>	<p>Cross-OS File Exchange-Code Converterで「令和」を一文字として扱う合字をご使用頂く際には、下記の「Cross-OS File Exchange - CodeConverter使用時のお知らせ」を参照ください。</p>
VSP G1500/F1500 共通	P-242R-JGE1K	Hitachi Cross-OS File Exchange Software		
G1500	P-242R-JGS31K	Hitachi Mainframe Suite		
F1500	P-242R-JH31K	Mainframe Essentials		
VSP	P-012R-JDS1K (両ライセンス形名搭載時に該当)	Hitachi Cross-OS File Exchange Software		
	P-F012R-JE11SK	Hitachi Cross-OS File Exchange Software option set		
USPV/USPVM	P-012R-JC1S1K (両ライセンス形名搭載時に該当)	Hitachi Cross-OS File Exchange software		
	P-F012R-JC12SK	Hitachi Cross-OS File Exchange software Code		

		Converter option set		
--	--	-------------------------	--	--

© Hitachi, Ltd. 2017–2019. All rights reserved.